

柘植地域

# まちづくりだより

## 第213号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局  
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

(柘植地区市民センター内)

〒五二九-1402

電話 四五-八八八〇 FAX 四五-八八八三

発行日

二〇一八(平成三十)年六月一日(金)

柘植地域俳句コーナー

夕顔や

風ふんはりと

ふんはりと

中西澄子

な、なんと!

芭蕉さん、手書きの

### 「奥の細道」を味わう



5月12日(土)午後、市民センターで、小田剛先生(龍谷大学)による「芭蕉『奥の細道』を直筆本で読もう!」という講座を開催しました。

参加者は昔の学習を思い返しつつ、先生による変体かなの解説を聞きながら読み進めました。今後、部会では各種の講演会を企画していく予定です。



2回目以降のお問い合わせは、  
090-7365-6015(坪)まで

## ひな人形がっないでくれた、縁!

5月14日(月)午前、伊賀の小屋組みの家で、湖南市の公民館で活動する女性グループとの2回目の交流会を開催しました。

女性活動部会



3月の「ひな人形展」見学がきっかけで「作り方を教えて!」ということになり交流が始まりました。

「地元に戻って他のメンバーに作り方を教えたい」と、材料の準備のことや髪飾りのことなど熱心に尋ねてくれました。地元の公民館にひな人形コーナーを作ることが目標だそうです。

このグループは日頃「ゴム体操」で腕や足を鍛えているとのこと。人形づくりの後で、ゴム体操のやり方を教えていねいに教えてもらうことができました。これをきっかけに湖南市へも交流に行きたいと思えます。



# 地元・JR・伊賀市の3者が協力して 魅力ある柘植駅に…

柘植駅を核とする公共交通のあり方検討委員会  
5月17日(木)午後、柘植駅でJR西日本亀山鉄道部幹部のみなさんと懇談をしました。

今回の懇談では、地元にとっても来訪者にとっても、柘植駅をより魅力的な駅にするために、駅舎の中でも特に跨線橋のスペースを当地域に使わせてほしいとのお願いをしました。また「待合室の活用」や「転車台等の鉄道遺産」についても話題にあがりました。



JR西日本としては社をあげて地域貢献をめざしており、今後とも話し合いを通じて、地元の声を活かしていく取り組みを進めていきたいとのことでした。

## 「柘植駅発着で 歴史探訪と森林浴を」

5月20日(日)9時～15時過ぎ、柘植駅を発着点とするフィールドワーク



奥余野の国境にて…↑  
↓モッコ山展望台にて



柘植小のマツ↑  
↓柘植駅にて



を試行(8名参加)しました。この事業は昨年10月に予定していましたが、台風で延期になり改めて内容を見直して開催したものです。  
コースは柘植駅を発着点とし、柘植地区市民センター↓柘植小学校↓徳永寺↓風の森↓余野公園↓王申の乱古戦場を巡るものです。  
鈴鹿山脈南端の扇状地に位置づく柘植地域を一貫して意識しながら歩きました。またスタッフは、各所での説明をスムーズにできるように練習をして臨みました。今回の取り組みを活かし、地域内の各組織とも連携して、鉄道で訪れる方々を招き入れやすい体制づくりをしていきたいと考えています。

## 組織を確立して 地域防災力の強化を!

5月17日(木)夜、今年度初めての自主防災実行委員会を開催しました。

柘植駐在所(伊賀警察署)、伊賀市東消防署、いがまち消防団伊賀分団、伊賀市総合危機管理課、伊賀支所振興課、伊賀市社会福祉協議会、いがまち人権センター、また指定避難所である柘植地域内小中学校・保育園、ならびに各区防災実行委員などが集まり、今年度の事業計画その他について確認をしました。

←事業の説明をする  
服部文昭事務局長(右)  
松山宗達同次長(左)



### 柘植の森林整備のために…

柘植の森林整備実行委員会

平成26年度から実施されている「みえ森と緑の県民税」などの目標にあるように、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」は喫緊の課題です。2年前から、市農林振興課の支援をいただきながら、阿波・布引地域と連携して行っている「森林研修事業」視察研修会の下見として5月18日に奈良・曾爾方面へ行ってきました。

密植されたスギ林とそこから搬出される小径木活用の様子など、参考になることが多く、今秋、計画している視察とともに、柘植地域の森林計画策定に活かしていきたいと考えています。



狭い間隔で撫育されたスギ林→

木材は、皮をむいた状態で出荷される↓



### 地域の情報を共有し、山の将来に夢を！

5月28日(月)午後、市民センターで、市農林振興課の支援を受けて、実行委員の学習会(22名参加)を実施しました。

学習会に先立ち、各区を通じて山林関係者へのアンケートを実施し、12区の実情を共有しあうことにしました。(結果は12区連絡協議会でも共有します)

最初に、山出区の中井勇介さんから「自伐型林業の始め方」と題し、軽トラとチェーンソーを活用した林業の経験をお話しいただきました。



を具体的にお話しいただきました。

後半は、「担い手がほとんどいない」という区の実態をふまえ、今後、区を越えて山林の問題を考え行動しよう」と話し合いました。



次に委員長の町田盛次さんからは、柘植地域山林の現状をふまえた将来の夢

### あいさつと環境美化は、

### 防犯上の重要な取り組みです



5月22日(火)午後、伊賀医師会館で地域防犯連絡所班長・各支所防犯担当者の合同会議が開催されました。また29日(火)午後には、サンピア伊賀で防犯協会総会が開かれました。

伊賀市内での刑法犯は減少傾向にあります。が、空き巣や忍び込みの発生は多いそうです。



「まちをきれいにすれば犯罪は減る」という理論の下、確実な施錠と周囲からの見通し確保(死角をなくす)が重要、加えて子どもが大人とあいさつを交わらせる地域性が、犯行抑止力となると警察署より説明がありました。

**伊賀警察**  
21-0110

ささいな事でも不審者情報は警察へ、また不審な電話やハガキなどの情報も寄せてほしいとのこと。(上記電話へ)



議員と話そう♪

伊賀市の未来について

5月27日(日)午後、ゆめぼりすセンターで、伊賀市議会が主催するタウンミーティングが開かれました。開催案内は全戸配布されたのですが、参加者は全市で24名。柘植地域からは、役員が研修を兼ね5名参加しました。「子育て・教育」「地域振興」「医療・福祉」の3つのテーマに分かれて、議員のリードで議論が始まりました。後半には、テーマ別に5つの班から、それぞれ話し合いで出た内容を報告し交流しました。



や他地域自治協の方々と実状を話し合うことのできた。意義が大きい。トイ、伊賀市の未来は、課題の多さを感して帰った。

獣害防護柵の補強が重要

生活環境部会

5月25日(金)午後、県伊賀庁舎で、伊賀市鳥獣害対策協議会総会が開かれ、生活環境部会鳥獣害担当(大杉哲郎、西田方計)が出席しました。



管理の実践状況が報告された後、特にシカ対策として、防護柵の補強と加害獣の効果的な捕獲のありようについて、県農業研究所からの提案と諏訪住民自治協の取り組みの状況が報告されました。



雨の日の開催 つつじ祭

5月13日(日)、余野公園で第31回つつじ祭が開催されました。天気予報通りの雨となりましたが、大勢のお客さんが訪れ、各区の模擬店もにぎやかに開かれていました。(区長さんより、各区の様子を寄稿いただきました。)

また、まちづくり協議会としては、特産品創出事業実行委員会が昨年に続き出店し、黒豆のあんまきや水まんじゅうなどを販売しました。



★★★事務局だより★★★

▼毎年、事務局はつつじ祭運営委員として携わっております。各区も駐車場係などで祭を支えています。皆さん、雨の中、お疲れさまでした。▼ところで、センター東側にツツジの苗木を植えました。岡鼻区の岡嶋正和さんが挿し木から丹精込めて育てられたもの



です。▼若干あまりがあります。ご希望の方は事務局までお問い合わせください。

(西田方計)

# 第31回余野公園つつじ祭

# 各区の様子交流特集 Part1



余野公園保勝会主催で開かれた第31回つつじ祭。当日、柘植地域12区によるそれぞれの模擬店やいがまち特産品振興協議会ほかによる出店、さらには多彩なステージ発表により、例年同様の取り組みがなされました。雨模様になったことは残念ですが、柘植地域住民の相互交流の場としても有意義な一日となりました。



10時頃から雨が降り、売れ行きを心配しましたが、午前中には予定の50パックを完売しました。たくさんの方々が行列をされて、うにめしの販売を待っておられました。並ばれた方



下町区

ました。ク炊フ時名し3女たもめま  
詰きルかで、名性。販しし恒  
め上稼ら早当でス前売ーた例  
を働四朝日は準夕夜しをーと  
行パし釜のは備ッかま今うなり  
いッてを59をフらし年

全員の希望に添えず、途中で売り切れの状態となりました。買えなかった方には、お詫び申し上げます。今後、販売の方等について検討したいと思っております。(区長・森下仁)

**山出区**  
山出区では、今年も恒例の「霊山麓水晶米」と称して山出地域の最上部の耕作田で収穫したコシヒカリ米を販売しました。毎年、市内外からの常連さんが多く購入してくれていましたが、今年は残



りたが、約400本(例年の80%)の売上げとなりました。後片付けは、雨の中、苦勞しました。テントは、2日ままにさせていただきました。乾燥の手間もかからず収納することができました。(区長・丸柱祐道)



上町区

は、今年の出店は、今年も幹部会を中心として、ボランティアの応援、さらには、市民の協力を得て、フルトの販売を実施しました。雨天の客足は、雨足に合わせた販売を心がけたいと思います。

